

## 平成26年 製造業死亡災害事例

| No. | 月  | 業種         | 職種           |    | 事故の型       |    | 発生状況の概要  |
|-----|----|------------|--------------|----|------------|----|--|
|     |    |            | 年齢           | 経験 | 起因物        |    |  |
|     |    |            |              |    |            |    |  |
| 1   | 3月 | 金属製品製造業    | 金属加工・金属製品検査工 |    | はさまれ、巻き込まれ | 旋盤 | 被災者が6尺旋盤の清掃作業をしていたところ、稼働中の当該機械に左腕を巻き込まれた。被災者は同日中に病院へ搬送され、緊急手術を受けた。治療を受け症状が安定したため、被災者はリハビリ施設の整った病院へ転院し、左手の機能回復のための診療を開始した。その後、被災者は同病院にてリハビリ中に、肺損傷を原因とする呼吸不全で死亡した。 |
|     |    |            | 70歳以上        |    |            |    |  |
|     |    |            | 30年以上        |    |            |    |  |
| 2   | 3月 | 一般機械器具製造業  | 技術者          |    | その他        |    | 設計業務に従事していた被災者が、事業場近くの団地から投身自殺を図った。  |
|     |    |            | 50歳代         |    |            |    |  |
|     |    |            | 1年未満         |    | 起因物なし      |    |  |
| 3   | 5月 | 金属製品製造業    | 管理者          |    | 爆発         |    | マグネシウム合金製のノートパソコン用筐体を加工する作業場で、作業員が産業用ロボットのコントローラに作業数読み取り装置をはんだ付けで取付け後、主電源を入れたところ発火した。作業員が消火用の砂をかけたが、火が広がり爆発が起きた。爆発による火災で工場長がやけどを負い、病院で治療後死亡した。                   |
|     |    |            | 40歳代         |    |            |    |  |
|     |    |            | 20年以上30年未満   |    | その他の装置、設備  |    |  |
| 4   | 7月 | 輸送用機械器具製造業 | 作業者・技能者      |    | 爆発         |    | 台船上でフロート内部を吹き付け塗装中、引火性の物の蒸気ガスが爆発した。フロート内部にいた被災者が、その爆発により台船上に約10メートル飛ばされ死亡し、フロート上にいた別の作業員が火傷を負った。   |
|     |    |            | 30歳代         |    |            |    |  |
|     |    |            | 10年以上20年未満   |    | 引火性の物      |    |  |
| 5   | 8月 | 食料品製造業     | 作業者・技能者      |    | 感電         |    | 被災者がふるいを高温水を用いて洗浄していたところ、突如頭を押さえながら倒れこんだ。被災者の腕から背中に向け電撃傷があった。  |
|     |    |            | 40歳代         |    |            |    |  |
|     |    |            | 10年以上20年未満   |    | その他の装置、設備  |    |  |

本表の災害は、安全課が平成27年3月までに把握した、東京労働局管内の事業場で発生した平成26年製造業の死亡災害です。